

* * ガイドを紹介いたします * *

自然観察や森林浴をしながら、
飛砂からまちを守った風の松原
について学ぶことができます。



時期／通年

人数／ガイド1人で10名

時間／1時間～

【要予約】

能代観光協会

☎0185-88-8802



秋 田 県
能 代 市

問い合わせ先

観光振興課

〒016-8501

秋田県能代市上町1-3

TEL 0185-89-2179

FAX 0185-89-1776

URL <https://www.city.noshiro.lg.jp/>

E-mail kankou@city.noshiro.lg.jp

協力：風の松原に守られる人々の会

風の松原ガイドの会

2023年5月発行

能代海岸砂防林

風の

かぜのまつばら

の松原

PR動画は
コチラ

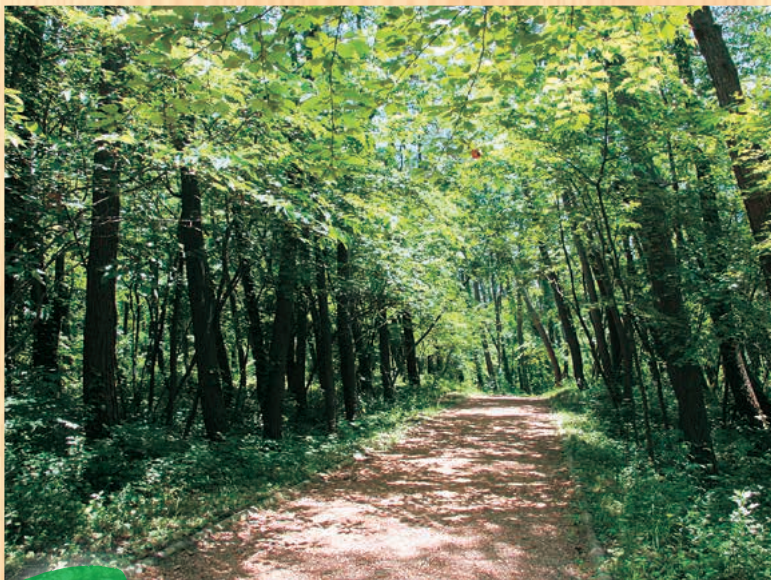
秋田県 能代市



松原の四季

春

松原はいっせいに息を吹き返し、木々の新芽が勢いよく伸びています。明るい日差しは針のような松の葉を輝かせます。いこいの広場では、桜の花も咲き、緑とのコントラストが楽しめます。

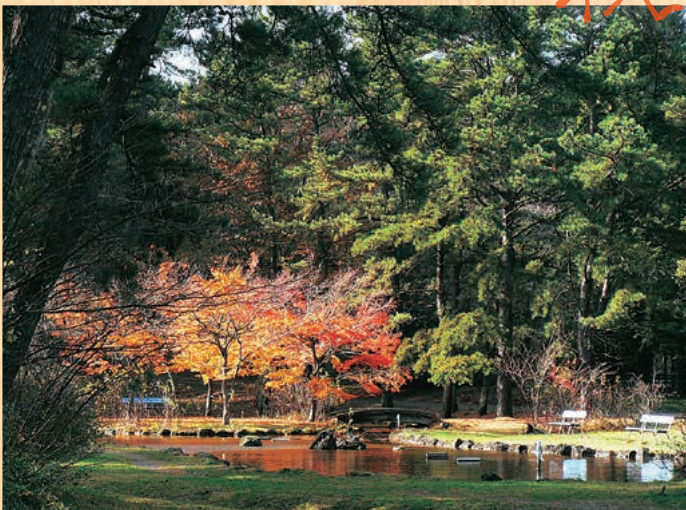


夏

松林を吹き抜けるさわやかな風が夏の暑さを忘れさせてくれます。松籟を耳にしなが、ゆったりとした時の流れを感じることができます。散策を楽しむ人たちや、小鳥たちの元気な声が聞こえます。

透き通るような空気の流れが、果てしなく広がる松原に吸い込まれます。刻々と変わる秋の光が、松林の中を走馬灯のように照らします。松原はキノコ採りの人たちが賑わいます。

秋



冬

日本海から吹き付ける容赦ない季節風にクロマツは力強く耐えています。風が止んだつかの間、松原はモノクロームと静寂の世界にすみ込まれます。

写真提供：成田 憲太郎 氏

風の松原 6冠

21世紀に引き継ぎたい日本の名松100選

(日本の松の緑を守る会 1983年)

21世紀に残したい日本の自然100選

(森林文化協会・朝日新聞社 1983年)

森林浴の森日本100選

(緑の文明学会・緑の文明総合研究所 1986年)

21世紀に引き継ぎたい日本の白砂青松100選

(日本の松の緑を守る会 1987年)

日本の音風景100選

(環境庁 1996年)

かおり風景100選

(環境省 2001年)

『松原散策のすすめ』

★★ おすすめコース ★★

◎鳥居前コース(3.4km 約40分)

鳥居前→6→12→11→5→7→1→9→鳥居前

◎陸上競技場コース(3.3km 約40分)

陸上競技場→1→7→5→12→6→陸上競技場

◎サン・ウッドコース(2.9km 約35分)

サン・ウッド→9→6→5→11→10→サン・ウッド

※P4-5の地図を参考にしてください。

×× 禁止・注意事項 ××

- ゴミは持ち帰りましょう。
- 山火事の大半はタバコが原因です。禁煙にご協力下さい。
- “いこいの広場”以外での火の使用は禁止されています。
- ペットを放すことは禁止されています。また、フンの始末など飼い主として、最低限のマナーを守りましょう。
- 公共物は大切に取り扱いましょう。
- 樹木の伐採、植物の採取は禁止されています。






大切な松原です。マナーを守りましょう!!

風の松原 川史

藩
政
期

江戸時代初頭	冬の季節風による飛砂で、農地などに大きな被害。
1700年頃	能代は飛砂で住居や耕地が埋まる被害が多く発生し、秋田藩でも飛砂防止対策に着手。
1711年頃	回船問屋 越後屋(渡辺) 太郎右衛門が自費でクロマツを植栽。その後、庄屋 越前屋(村井) 久右衛門も植栽。
1744年頃	能代給人 白坂新九郎、鈴木助七郎が砂留役となり、砂留造林事業継続。
1764年頃から	浅内の原田五右衛門、福田の野呂田八郎右衛門、河戸川の太塚基十郎、長崎の袴田与五郎など砂防林を造成。
1797年	郡方砂留吟味役 栗田定之丞 、藩内海岸の砂防林造成に着手。 (20余年間で数百万本を植栽)
1822年	賀藤景林 、能代木山方(兼務)となり、砂防林造成も担当。 (1833年までに76万本植栽)
1830年	住吉町辺りの松1千本を飢饉のため、伐採。その跡に1万5千本補植。
1836年	賀藤景琴、父の業を引き継ぎ、その後、松30万本植栽。



明治・大正期	1892年 ～1920年頃	能代小林区署創設。(現米代西部森林管理署) 飛砂によって、クロマツの枯死が見られ、大森稻荷神社の鳥居が埋まるなどの被害。 1921年 後谷地で国営造林事業が開始。	
昭和	1929年	飛砂と潮風によりクロマツ林が埋没、枯死。 1943年 旧展望台付近より出火。21ヘクタール消失。翌年補植。 1971年 臨海工業団地造成で議論起こる。 (74年伐採幅100mで決着) 1978年 初回砂防林クリーンアップ 1983年 日本海中部地震。砂防林が津波の力を弱めることが実証される。 1987年 市の公募で、砂防林の愛称が「風の松原」と決定。市が「いいこの広場」等の整備を開始。	
平成	1999年 2001年 2003年 6月 2004年 2007年 3月 2008年 3月 2011年 9月 2019年 2月	松くい虫が北上。後谷地国有林にも侵入、被害発生。 松根掘場跡地に「アリ地獄」説明板を設置。 風の松原を守る市民ボランティア大会が1日、8日の2日間開催された。 風の松原を守る市民ボランティア大会が「風の松原ボランティア協議会」主催で開催された。 (以後毎年実施) 日和山地区送電線跡地等にサクラ、ハマナスなどの植林が行われる。 生活環境保全林整備事業「健康づくりのみち」工事(ウッドチップ歩道・あずまや・標識等)が完成。 風の松原植栽300年祭 米代西部森林管理署が国有林である日和山登山口から方角石までウッドチップ歩道を整備。	
令和			

サン・ウッド能代 (風の松原案内所)



風の松原の歴史や松くい虫等に関する情報をパネルで紹介しています。無料レンタサイクルもあります。休憩所としてもご利用下さい。

☎0185(52)3121
開館時間／午前9時～午後10時(体育施設は午後9時まで)

休館日／年末年始(12月29日～1月3日)

風の松原で見られる動植物



キビタキ



ジョウビタキ



シマノジロ



ガマズミ



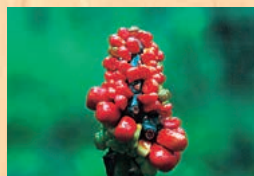
エソツリバナ



ツタの紅葉



サンショウ



マムシグサ



アキグミ



マルバフジバカマ



マイズルソウ



ハマナス



オオアマドコロ



ミツバアケビ



クサノオウ



クロマツの雌花



オオイヌノフグリ



キタコブシ



ナニワズ



カキドオシ



オオバヤシャブシ



カスミザクラ



シャク



オオルリ



コマドリ



イソヒヨドリ



リス



カワラヒワ



ノウサギのあしあと



コルリ

森林セラピー®

「森」の持つ力の研究が進み、身近なものとなってきた『森林セラピー』。それはどういうものなのか？

- 森林の空気は都市部の空気より体に優しい
- 樹木の香りが心を落ち着かせ、リラックス効果をもたらす
- 枝葉のざわめきで気持ちが安らぐ
- 日常と離れた場所にいることで雑念を忘れられる
(天地効果)

など、「森林浴」の効果を科学的に解明し、心と身体の健康に活かそうという試みが「森林浴」から一歩進んだ『森林セラピー』です。森の中での歩行や運動を楽しみながら、健康回復・維持・増進活動でもあります。

五感でとらえる森の力

人間はもともと自然環境の中で生活していました。現代の人工的な環境の生活は大変なストレスを与えます。森林セラピーはストレスを改善するという点からも大きな効果を持っており、人々の心を癒すといわれています。

森の中や周辺で五感のアンテナを研ぎ澄ませて、木々の息吹や風のざわめきを感じてください。そして、その中でいちばん自分に合ったリラックス法を探してみましょう。

見る 〈映像から得る癒しの力〉

森の風景を見ることで体が受けるリラックス効果はとても大きいものです。ただ森の緑を眺めるだけでも血圧の低下や脳活動が鎮静化するなどの作用をもたらします。また、日本人特有の感覚として、満開の桜を見ることで脈拍が増し、わくわくする傾向があります。

聴く 〈森の音に天然の鎮静効果〉

一見静かな森の中でも、木立の葉が風に揺れる音や小鳥のさえずり、水の流れる音などが、絶え間なく響き続けています。ささやかなこれらの音を聞くことによって、人間の体では、血圧の低下や脳活動の鎮静化などの効果が起こることがわかっています。また、目を閉じることで、耳への意識がいつそう集中するでしょう。



味わう 〈自然の味を楽しむ〉

森林は有機物の宝庫。森林セラピー認定基地の中には、木の実やキノコ、湧き水などを味わうことができる森があります。新鮮で力強い大地の滋味を口にするだけで、心の充足感はもちろん、体にもよい効能を享受することができます。季節に応じた森の恵みを堪能してください。



嗅ぐ 〈鼻で感じるリフレッシュ効果〉

香りが脳に働きかける作用は直接的で大きなものです。特徴的なスギやヒバなどといった木の香りは血圧や脳の活動を鎮静化させ、怒りや緊張などを緩和させる効果があります。また、大きく深呼吸することで森林にたくさん放出されているフィトンチッド(*)を取り入れることができます。

※植物が傷つけられた際に放出し、殺菌力を持つ揮発性物質のこと



触る 〈自然の感触を楽しむ〉

手のひらや足の裏で、木の葉や木の幹に直接触れてみましょう。人工的な素材ではなく、自然由来のものに触れることで、よりくつろいだ感覚や心地よさを感じることが出来ます。また、気に入った巨木が見つかったら抱きつくことでも心を落ち着かせる作用があるのでおすすめです。是非、生きた木や自然に触れてみて下さい。

参考：特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティ

<https://www.fo-society.jp/therapy/enjoy.html>

ひと足のばして

のしろ 散策

市外局番
(0185)



北萬(北村提灯店)

全国的にも独特の画風で知られる能代凧。その中でも代表的な「べらぼう凧」や提灯などがあり、見学・購入が出来ます。



☎52-7978
営業時間 9:00~17:00
休業日 不定休

井坂記念館

木都能代の父「井坂直幹」と木材産業に関する資料を展示しています。

☎54-1289
73-5285 (休館時は生涯学習・スポーツ振興課へ)
開館時間 9:00~16:00
休館日 月・水・日曜日、11~3月
(事前に申込があればいつでも開館)



洋上風力発電

日本初の大規模な洋上風力発電設備20基が2022年12月に運転開始されました。



写真提供：秋田洋上風力発電株式会社

はまなす展望台

高さ27mの展望台です。風の松原をはじめ、晴れた日には白神山地や男鹿半島など美しい景色を眺望することが出来ます。



開館時間
4月、10月 9:00~18:00
5月~9月 9:00~19:00
11月~3月 9:00~17:00

能代エナジウムパーク

火力発電所の排熱を利用した熱帯植物園や、伝統的な祭り“能代役七夕”の灯籠(山車)、“能代凧”が展示されている「能代ねぶながし館」などがあります。

☎52-2955
開館時間 9:30~16:30
休館日 月曜日(祝日の場合開館)、年末年始



能代港



風の松原

能代市旧料亭金勇 (かねゆう)

天然秋田杉がふんだんに使われている木都能代の象徴。昭和12年から平成20年8月まで料亭として使用された歴史のある建築物です。「今では手に入らない逸品」と言われる長さ9mの中空の天井板は一見の価値があります。



☎55-3355
開館時間 9:30~16:30(見学)
9:00~21:00(部屋貸出)
休館日 年末年始(12月29日~1月3日)